

# 明日も元気で来いよ！

## 最終号 6年間ありがとうございました

この校長室だより「明日も元気で来いよ！」もいよいよ最終号となりました。皆様には、6年間の長きにわたり、温かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

校長としての6年間、十分なことはできませんでした。

けれど、「明日も・・・」を6年間続けて通算141号まで発行し続けられたことは、私にとって大きな財産です。

6年間続けられたのは、次のような理由があるからです。

### ◆子どもたちが、素直に伝えてくれました。

「明日も・・・」では、毎月の掲示やそれにまつわるクイズをはじめ、子どものがんばりや善行など、多くのメッセージを発信してきました。それらに対して、子どもたちは、実に素直に伝えてくれました。クイズを出すと、すぐに調べて答えに来てくれました。関係する本や本物の植物を持ってきてくれた子もいます。「たくましく・・・」に感想を書いてくれた子もたくさんいました。

### ◆保護者や地域の皆様が、温かい感想やご意見を寄せていただきました。

子どもの連絡帳やお手紙を通して、そして、お会いした時などに、「いつも楽しみに読んでいます」と伝えてくださいました。震災に関する記事には、自分の体験や職場での話なども教えてくださいました。

こちらからの一方通行ではなく、「読んでくださっている」という手応えがいつもありました。

### ◆教職員が、協力し、支えてくれました。

今日は、「〇〇さんが、トイレのスリッパをそろえていた」「〇〇くんが、低学年の子どもが泣いていたら、優しく声をかけていた」・・・などと、日々の子どもの様子を教えてくれました。

また、「たくましく・・・」に、私の講話や「明日も・・・」に関する内容が記されていた時にも、知らせてくれました。

このように、教職員が私の思いを理解し、協力してくれたおかげで、「明日も・・・」の記事がみつかりました。

結局、「明日も・・・」に限らず、私の6年間、いや教職生活40年を何とか終わることができるのは、子どもたち、保護者や地域の皆様、一緒に勤務した教職員、その他、これまで私が出会って来たすべての方々のおかげです。

「残心」という言葉があります。辞書には、「やり残したこと」「心残り」「未練」という意味もありますが、もうひとつ、武道で、「攻撃した後も、気を抜くことなく相手の攻撃に備える構え」という意味もあります。後者の意味から派生して、物をわたす、物を置くとき、その物に心を込める、感謝し、大切に作る、その心構えのことと解釈されることもあります。

「未練」ではなく、「心をこめて」「感謝して」西天満小学校から卒業させていただきます。

皆様との出会いと、これまでのご厚情、ご支援に心から感謝申しあげて、校長室だより「明日も元気で来いよ！」の筆を置かせていただきます。

子どもたちの健やかな成長と、西天満小学校のますますの発展、皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。

皆様、本当にありがとうございました。